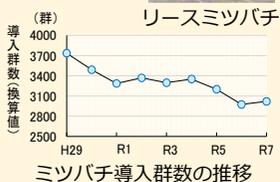


## 戦略1 生産基盤の再構築による気候変動に強い産地づくり

### ◆結実対策

- ミツバチ、輸入花粉の導入支援
- マメコバチの適正管理の推進
- マメコバチ減少要因の解明と管理技術の開発



### ◆品種転換

- 紅秀峰・やまがた紅王の導入推進
- 収益性が高い受粉樹の導入促進
- 受粉可能な品種の高接ぎを推進
- 気候変動に対応できる新品種の開発



### ◆気候変動対策

- 気候変動に対応した栽培技術の普及
- 防霜資材、高温対策資材の利用促進
- 高温障害のメカニズム解明実施しやすい対策技術の開発
- バイオスティミュラント資材を用いた高温障害軽減効果の実証
- 水利確保(井戸掘削など採水場整備)



### ◆やまがた紅王の生産拡大

- 「やまがた紅王プレミアム」規格(4L・特秀)の出荷拡大
- 大玉管理事例のマニュアル化・大玉生産研修会の開催
- 大玉コンテスト・果実品評会の開催

## 戦略2 技術革新による未来型産地への転換

### ◆スマート農業機器の開発と普及

- 農工連携で山形発のスマート農業機器開発と実装を推進
- 農業ニーズと産業界の技術力をマッチングさせ開発プロジェクトチームを発足
- 農工連携で製品開発から現地実証、市販化まで一貫して実施
- 既存のスマート農業機器・技術(草刈りロボット、環境測定装置、選果機など)の導入支援、研修会の開催



### ◆新型雨よけ施設の開発

- 霜被害軽減、高温障害回避、ビニール被覆作業の負担を軽減する新型雨よけ施設を開発
- 現在、既存施設を改良するタイプと新規形状(カーテン式)の2タイプを検証中



### ◆加温施設の機能向上

- 省エネ資材・省力機器の導入支援

### ◆全天候型生産システムの開発

- 環境制御技術やAIを活用した未来型生産システムを開発
- 開発に向けたプロジェクトチームの立ち上げ
- さくらんぼの生態に合わせた光・温度環境等の最適化に向けた研究



### ◆樹園地集積・団地化

- 地域計画のブラッシュアップを通じた樹園地の集積・団地化
- 衛星データを活用した樹園地情報・樹体情報の見える化



## 戦略3 技術と経営が次世代へ継承され担い手が定着する産地づくり

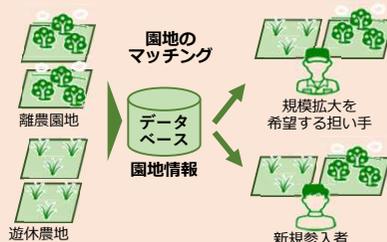
### ◆営農継続支援(雨よけ施設・農業機械の整備)

- 雨よけ施設やスピードスプレーヤー等農業機械の更新支援等による営農継続支援(継承までの時間を確保)



### ◆樹園地・技術の継承

- 段階に応じたきめ細かな支援による新規就農者の確保・育成
- 果樹研修ファームを活用した実践的な実地研修による新規就農者の技術習得
- 樹園地継承データベースによるマッチング促進



### ◆雇用労力の確保

- 1日農業バイトアプリの利用促進
- リレー派遣方式による外国人材受入促進
- 高所作業等に対応できる農作業受託業者の活用促進



## 戦略4 ブランド価値の向上と販路拡大による稼ぐ力の強化

### ◆「やまがた紅王」のブランド確立

- 「やまがた紅王ブランド化プロジェクト会議」を核とした早期ブランド確立の推進
- 首都圏等でのトップセールスによる「やまがた紅王」の認知度向上



- 山形駅及び首都圏主要駅でのタペストリーや動画によるPRの実施
- 観光・文化・スポーツ等の関係団体と連携し、イベント等を活用したPRの展開
- おいしい山形推進機構インスタグラム(フォロワー2.5万人)やホームページでの情報発信

### ◆大消費地での販売プロモーションの展開

- 全国の百貨店や量販店での「山形さくらんぼフェア」の開催
- 首都圏・関西圏の飲食店等での県産さくらんぼを使用したキャンペーンの開催
- 大企業の社員食堂等と連携したさくらんぼマルシェの開催

